

産業建設常任委員会 12月8日

持続可能な森林づくりを

白鷹町森林とつながる暮らしビジョンの策定について説明を受けた。

【推進の方向性】

●基本方針

「森林の多面的機能の発揮」

「森林・林業・木材産業の活性化」

「森林・林業の文化継承・森林学習を通じた郷土愛の醸成」

これらの達成のため、川上・川中・川下・総合的な対策の4分野で数値目標を設け、課題解決に向け施策を行っていくこととしている。

が、厳しい状況。インターンシップなどを行い、人材確保にあたりたい。

委員

人材確保にあり、林業と福祉の連携の考えはあるか。

副町長

環境を踏まえ、具体的にどういうことができるのか検討課題としている。

見える化を

ビジョンについて見える化をすべき。間伐や下草刈りなど身近に感じられるような情報発信や、木を生かしたモデルハウスが道路沿いにあるなどの総合的な推進が必要ではないか。

委員

まずは森林の境界明確化。一番

モデルハウスはこの

まちづくり複合施設であり、全国の方に見ていただき町の姿勢を知ってほしい。具体的に何を見える化していくか、緑の循環構想の中で森林組合などと一緒に進めていく。

山林に関わる人が高齢化し、自分の山を自分で守ることができなくなる中、森林学習をどう進めていくのか。

町長

小中学生を中心に、現場に行ったり、木工学習や町内杉材を使った技術家庭の学習を行ったりした。来年度以降も引き続き実施したい。



民間事業者との意見交換実施へ

サウンディング型市場調査の状況について説明を受けた。

【現状】

「ふるさと森林公園」や「伝統工芸の村」について、民間業者との意見交換などを通し、専門的スキルのある「民間事業者」への指定管理の変更や再整備、収益が見込め経営が可能なかの調査を実施している。

11月15日から「サウンディング型市場調査」の参加事業者を募

集し、11月29日の「現地説明会・見学会」には県内外の11事業者から申し込みがあり、当日は7事業者が参加。残る4社は個別に対応。

12月中旬から1月中旬にかけて、参加事業者とのヒアリングを実施し、結果概要を公表する。

【今後の対応】

結果公表の時期はいつか。

2月中旬から3月中旬を予定している。

見学した事業者からの質問や反応は

修繕料の状況、部屋ごとの宿泊料金、暖房の燃料などについて質問があった。

ヒアリングの日程をどう考えているか。

具体的な日程はこれからであり、エントリーのあった業者と調整する。

その他の説明
○住宅等の整備
○都市計画用途地域の見直し

建設業1社であった。

質疑

参加事業者の業種

見学参加11事業者の業種は何か。

宿泊業2社、コンサルタント業2社、指定管理で施設運営をしている2社、サービス業2社、旅行業1社、不動産業1社、建設業1社であった。

見学した事業者からの質問や反応は

修繕料の状況、部屋ごとの宿泊料金、暖房の燃料などについて質問があった。

ヒアリングの日程をどう考えているか。

具体的な日程はこれからであり、エントリーのあった業者と調整する。

その他の説明
○住宅等の整備
○都市計画用途地域の見直し